

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立古館小学校（岩手県）【協力校】

【取組内容】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【タブレットPCの活用】 4年 総合的な学習の時間

【題材】

福祉について学習したことを基に、さらに調べたいことについて、個人やグループで調べる。

調べたことについては、3年生にプレゼンテーションをして、福祉について広く知ってもらう。

興味をもったことや、深く調べたいことを共有して、発表に向けて資料づくりを行っている。

文字だけではなく、図や写真を取り込みながら見やすくまとめた。



- 問題解決に繋がる情報を、調査や様々なメディアから収集し、選択する。
- 情報を集めたり、発信したりする際、コンピューターを含む手段を目的に応じて活用する。
- 文章作成ソフト、プレゼンソフト等を操作する。
- プレゼンソフトを使って、相手や目的を意識したスライドをつくり、伝える。

必要な情報はインターネットからだけでなく、図書室の本や体験した時の様子なども活用した。
→お互いの情報を交流することで加除、修正できた。

※役割を分担し、プレゼンソフトを入力。

- ・相手意識をもって発信することで、資料作成の段階で、言葉を選んでわかりやすく表現することを身に着けた。



4年生の発表を見ることで、3年生もスキルアップの意欲につながった。